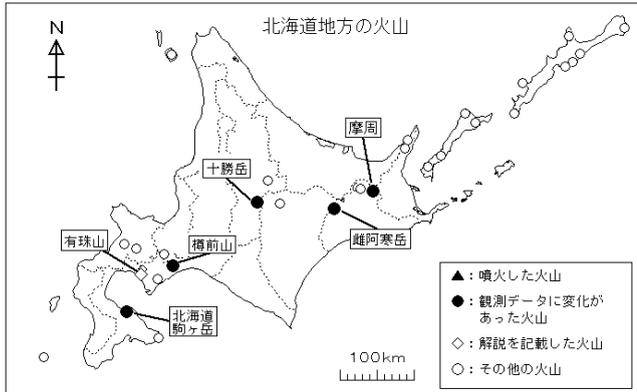


北海道地方の火山活動解説資料（年報：平成 15 年）

札幌管区気象台 火山監視・情報センター



解説を記載した火山名	平成15年(2003年)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
摩周		●										
雌阿寒岳	●											
十勝岳		●		●	●	●						
樽前山							●			●	●	●
有珠山												
北海道駒ヶ岳		●										

火山活動解説資料（年報）は、年間の活火山の活動状況をとまとめたものです。北海道地方の火山について、札幌管区気象台が作成し、毎年 1 月上旬に公表します。

平成 15 年の活動概況

摩周

2 月と 6 月に摩周カルデラ付近を震源とする地震活動が活発化しましたが、その後は落ち着いた状態で経過しました。

雌阿寒岳

1 月 1 日に規模の小さな火山性微動が発生しました。地震活動はやや活発な状態が継続しており、一時的な地震の増減を繰り返しています。ポンマチネシリ 96-1 火口は、2000 年以降噴煙活動がやや弱い状態となりましたが、火口温度は 400 前後と高温状態が続いています。

十勝岳

2 月 8 日に規模のやや大きな火山性微動が発生しましたが、噴煙等の表面現象に異常はありませんでした。その後も 6 月中旬までに数回規模の小さい微動が発生しました。62-2 火口の噴煙量や火口温度は低下する傾向が見られますが、噴煙活動は依然活発で火口温度も 300 以上と高温状態が続いています。

樽前山

10 月には A 火口、B 噴気孔群および E 火口で噴煙活動がやや活発化しました。A 火口と B 噴気孔群では火口温度が上昇したほか、B 噴気孔群では夜間に高感度カメラで明るく見える現象が時々観測されました。地震活動は比較的落ち着いた状態で推移していましたが、10 月以降は地震がやや多い状態となり、12 月上旬には一時的に増加しました。

北海道駒ヶ岳

2 月下旬にごく微小な地震が一時的に増加したほかは、地震活動に特段の変化は見られていません。地殻変動は 1996 年からの観測開始以降、継続して山体膨張の傾向を示しています。

上記以外の火山は静穏に経過しました。